



日本語教員等の養成・研修に関する カリキュラム及びシラバスの分析結果

(大学等機関・(財)日本語教育振興協会認定施設・地域の日本語教員等養成等団体)



はじめに

・日本語教員等の養成・研修に関するカリキュラム及びシラバスを分析するに当たり、平成21年度日本語教育実態調査において、日本語教員等の養成・研修を実施している機関(500機関)のうち、大学等機関(41機関)、(財)日本語教育振興協会認定施設(27機関)、地域の日本語教員等養成等団体(37機関)に対して日本語教員等養成等のカリキュラム・シラバスについて、送付依頼を行った。

・その中で回答があった大学等機関(31機関)、(財)日本語教育振興協会認定施設(18機関)、地域の日本語教員等養成等団体(22機関)のカリキュラム及びシラバスを、「日本語教育のための教員養成について」(日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議 平成12年3月30日)にある、「別添 日本語教員養成において必要とされている教育内容」の各区分に従い、整理を行った。

※カリキュラム及びシラバスの取り寄せに当たっては、実態調査の結果や本協力者会議の推薦等により、「一般的なカリキュラム及びシラバス」と「特徴的なカリキュラム及びシラバス」に暫定的に分類し、取り寄せる機関の選定を行った。

※一般的／特徴的の分類のほか、以下のような分類による整理を行った。

【大学等】大学／大学院

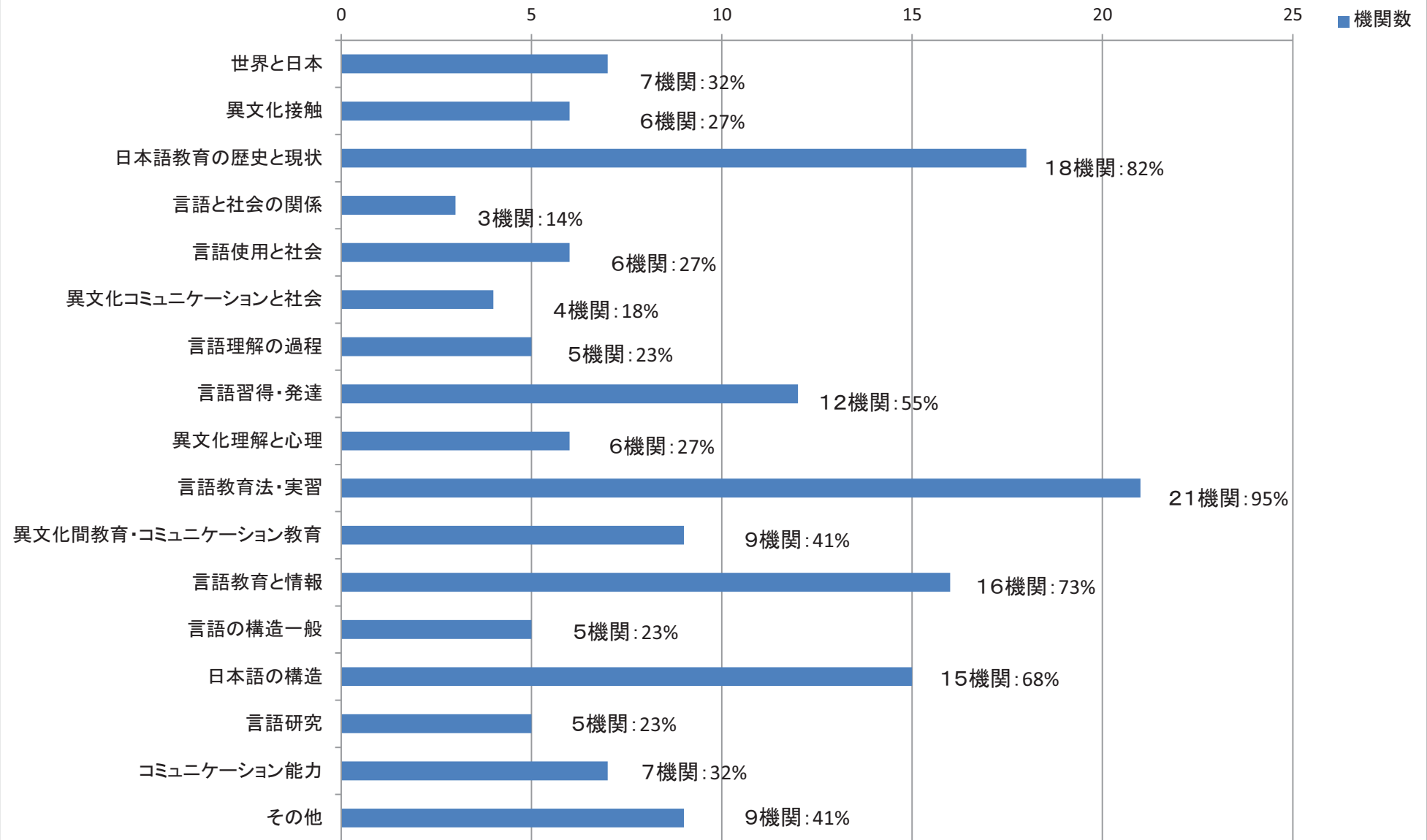
【日振協】420時間以上／420時間未満

【地域】初心者向け／経験者向け／初心者・経験者向け

※【大学等】については、一つの機関において、一般的なカリキュラムと特徴的なカリキュラムの両方をもっている機関があるため、「一般」と「特徴」の合計機関数が「全体」の機関数と一致しない。

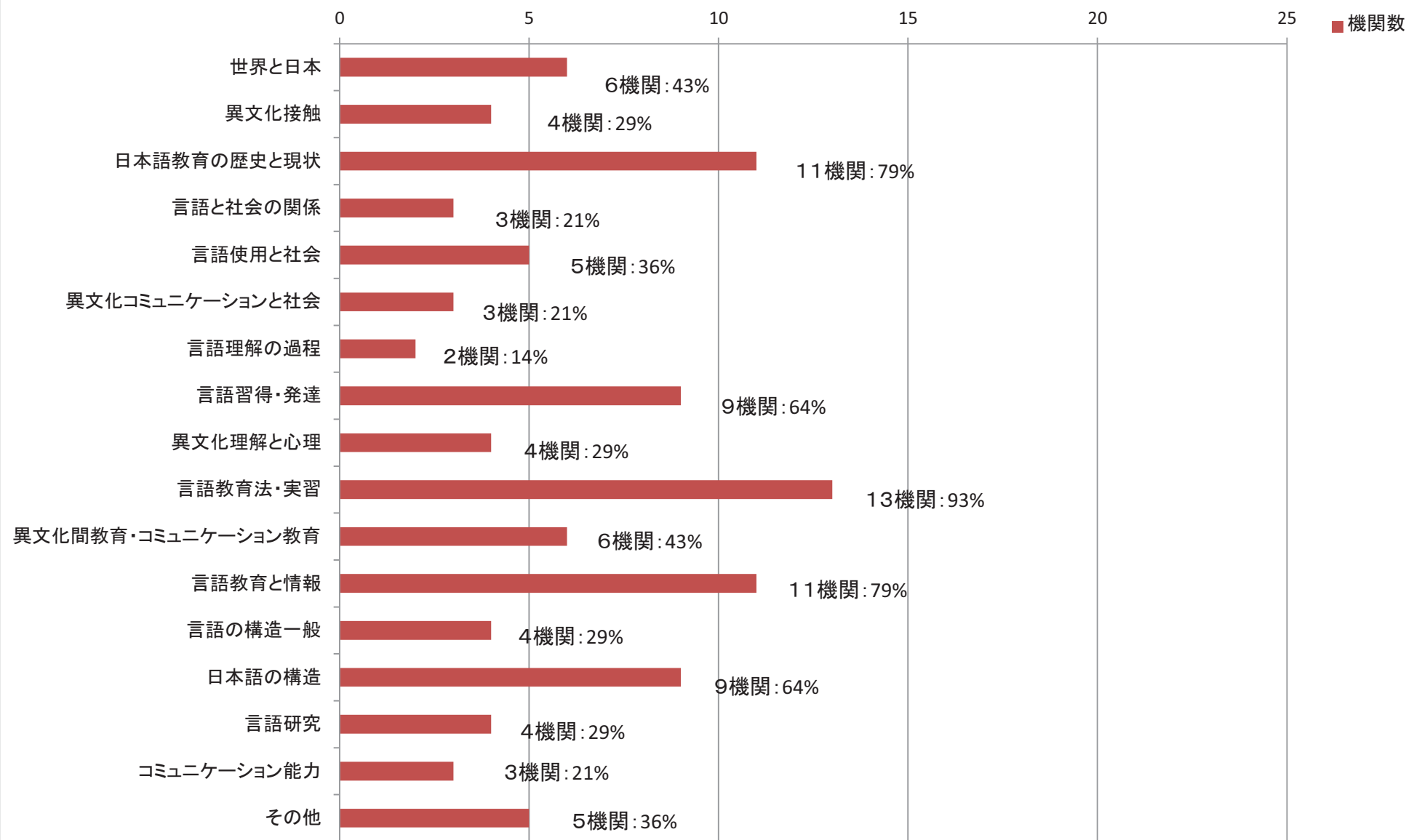
※【地域】については、一つの機関において、初心者、経験者、初心者・経験者と複数の対象分類向けの講座等を実施している機関があるため、「初心者向け」、「経験者向け」、「初心者・経験者向け」が「全体」の機関数と一致しない。

【地域】(全体:22機関)



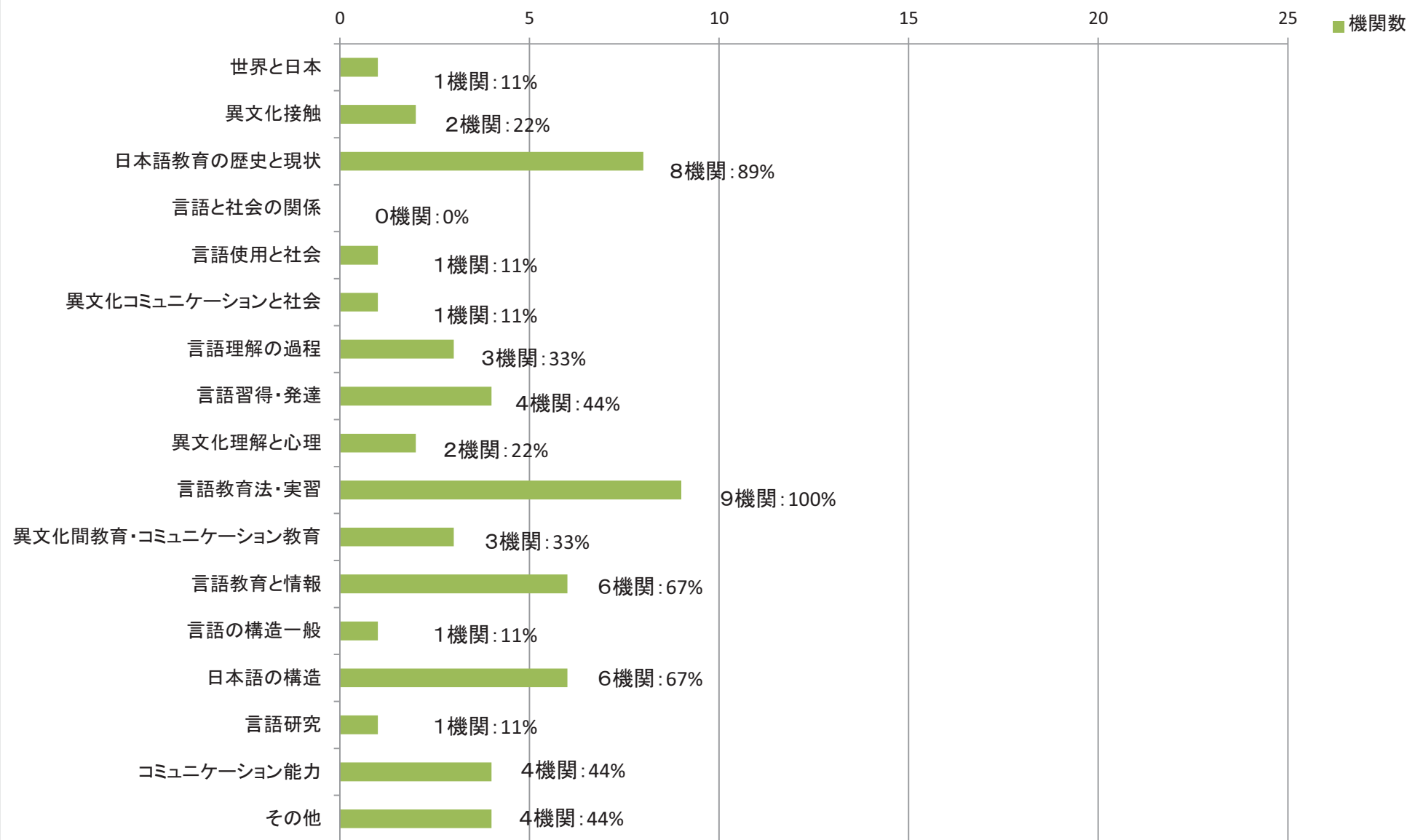
※一般的／特徴的で分類

【地域】(一般的:14機関)



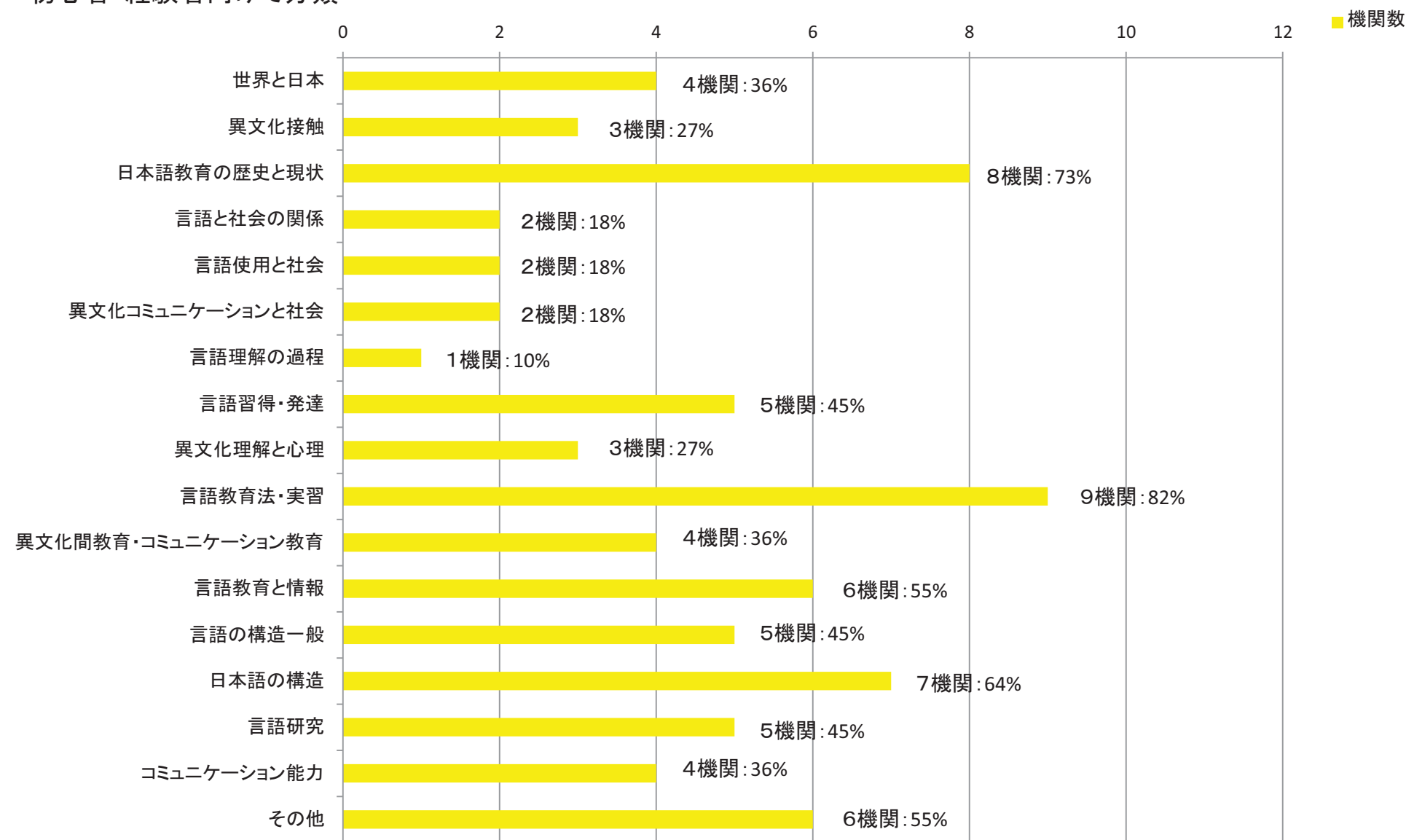
※一般的／特徴的で分類

【地域】(特徴的:9機関)



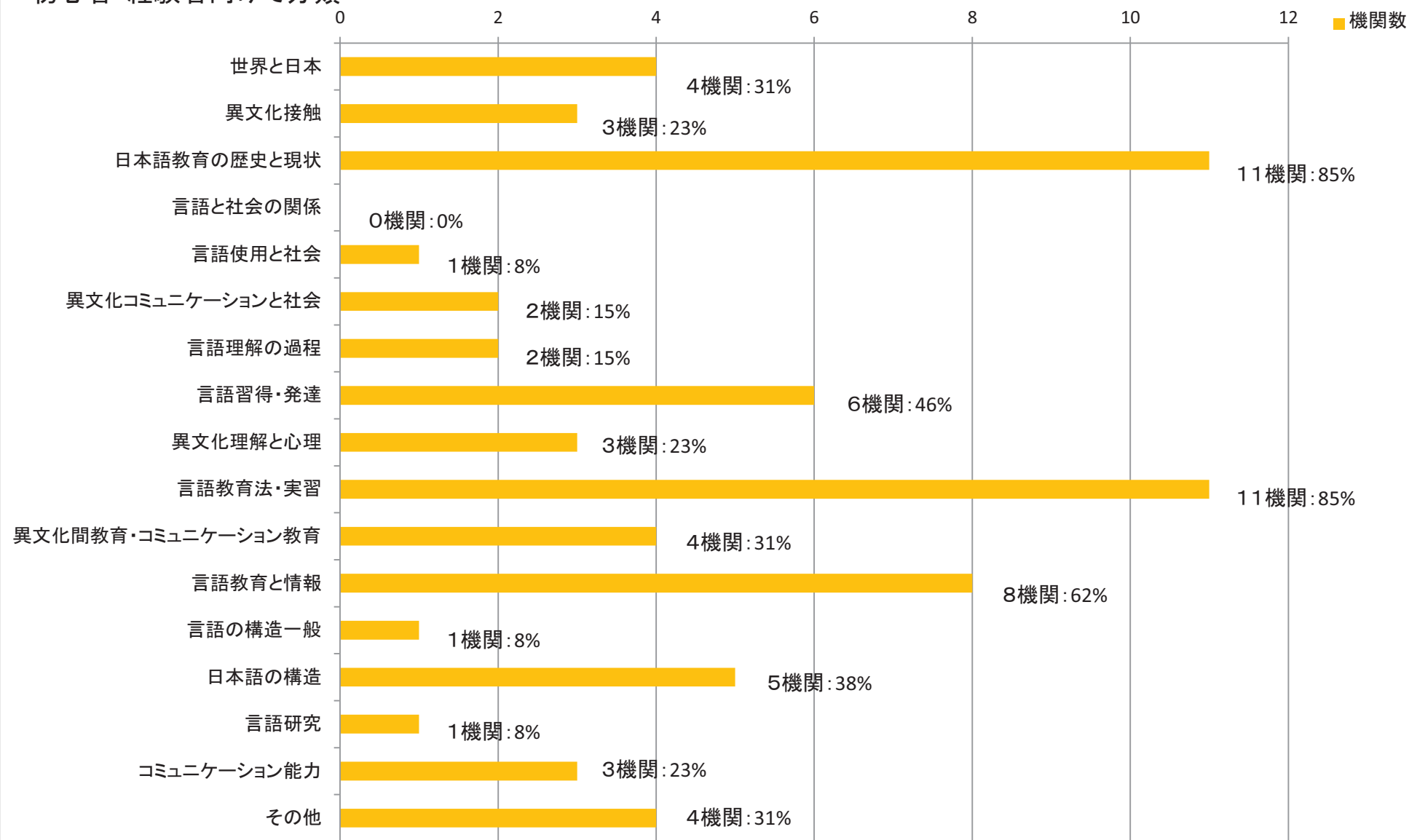
※初心者向け／経験者向け／
初心者・経験者向けで分類

【地域】(初心者向け:11機関)



※初心者向け／経験者向け／
初心者・経験者向けで分類

【地域】(経験者向け:13機関)



※初心者向け／経験者向け／
初心者・経験者向けで分類

【地域】(初心者・経験者向け:7機関)

